



## 山梨県障害者差別解消支援ネットワーク会議

### 【トピック】

- 令和元年度「障害者週間」関連行事について
  - ・「障害者週間」の普及啓発キャンペーン
  - ・第30回「障害者の主張大会」
- 心のバリアフリー推進ポスター・標語の優秀作品紹介
- 県職員への「心のバリアフリー推進講座」の開催



事務局: 山梨県障害福祉課  
〒400-8501  
山梨県甲府市丸の内1-6-1  
Tel 055-223-1362 又は 1460  
Fax 055-223-1464  
E-mail shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp

## 令和元年度「障害者週間」の普及啓発キャンペーン



【障害者福祉協会 今井副会長挨拶】

12月3日(火)、県と山梨県障害者福祉協会、障害福祉に関係する団体等の関係者が「障害者週間」に合わせ、障害や障害のある人への理解を深め、障害のある人となんが共に幸せに暮らすことができる「共生社会」の構築に向けた県民意識の高揚を図るため、普及啓発キャンペーンを実施しました。

甲府駅南口及び北口で午前7時40分から通勤通学者を対象に、イオンモール甲府昭和で午前11時から買い物客を対象に普及啓発チラシの配布などを行いました。障害当事者も多数参加し、延べ90名程が街頭キャンペーン活動に参加しました。

県内各市町村においても、商業施設周辺でのキャンペーン活動(甲州市)など、関連行事や広報誌による啓発活動が行われました。

※ 障害者週間について… 障害者基本法では、国民の障害者福祉への関心を高めるため、12月3日～9日までを「障害者週間」と定めています。

## 第30回「障害者の主張大会」

12月5日(木)午後1時から、第30回「障害者の主張大会」を防災新館オープンスクエアで開催しました。

この大会は、毎年、障害者週間に合わせて、広く県民の皆様が、障害のある方の日頃の思いや障害への理解を深め、障害のある人となんが共に暮らす「共生社会」を築くため開催しています。本年度は、9名の方が出場しました。

障害のある方の思いを知ること、合理的配慮の提供につなげていただきたい。



山梨県障害者福祉協会の竹内正直理事長から、第30回を記念し、「障害者の主張大会は、たくさんのすぐれた英知と才能と、なにより心の優しさと勇気を持った出場者を社会に送り出してまいりました。この人たちがその後、現場ですばらしい活躍をしている姿を見るにつけ、主張大会が果たした役割の責任の重さを感じずにいられません。」と挨拶し、出場者を激励しました。



### 受賞者と発表の内容

#### 最優秀賞 小池 英二 「愛とゆるし」

統合失調症となり家族を失うなどの体験を通じて「愛すること」「ゆるすこと」を覚え、治療の難しい病気と向き合いながら前向きに乗り越えていきたいとの思いを語る。(精神)

#### 優秀賞 埜村 和美 「文芸とともに」

川柳や連歌の会にも入会し、多くの方の感性に触れ、文芸を学ぶことのできる幸せをかみしめながら、先生や仲間へ感謝し、人生を心豊かに楽しんでいきたいという思いを語る。(視覚)

#### 第30回特別賞 小佐野 松雄 「挑戦し続ける人生」

ろう学校で発音や口話訓練に追われたこと、地域の聴覚障害者協会会長として町に手話通訳者の設置を働きかけ実現に至ったこと、手話ガイドとしての活動を通じての思いを語る。(聴覚)

#### 特別賞 吉村 圭子 「白と黒のあいだ」

視覚障害イコール全盲と思われがちだが、視野が狭くなる等の様々な障害の特性があって、白黒つけられないグレーな症状があることを多くの人に知って欲しいという思いを語る。(視覚)

#### 特別賞 相澤 幸雄 「音楽との出会い」

65年前、父からハーモニカを贈られたことで音楽と出会い、現在ではジャンルを問わず5000曲を奏でられるようになり、ボランティアとして様々なところで披露している体験を語る。(視覚)

#### 特別賞 小沢 広希 「私の仕事と誇り」

製造会社に入社して来年で九年目となり、仕事に責任と誇りをもって一生懸命に取り組んでいる思いを語る。(知的)

#### 特別賞 薬袋 惇平 「僕の大好きな仕事」

将来の夢は、紙漉きの大職人になる事。毎日の仕事を頑張り、大職人になっても、更に一生懸命頑張りたいという思いを語る。(知的)

#### 努力賞 田中 瑞恵 「ヘルプマーク・カードに感謝」

ヘルプカードがあったことで、筆談での会話が出来た経験を語る。(聴覚)

#### 努力賞 船久保 市子 「私の財産」

沢山の経験から心の財産が増え、更に前進出来ることの思いを語る。(身体)

# 令和元年度 心のバリアフリー推進 ポスター・標語

テーマ 障害のある人となない人が相互に人格と個性を尊重し合い共に暮らすことができる「共生社会」

例) 障害のある人となない人が共に日常生活を過ごす様子、障害のある人がスポーツや芸術で活躍する様子等

応募数 ポスター55点(小中学生22点、一般33点)、標語617点(小中学生96点、一般521点)

**ポスター優秀賞**

小中学生の部



小林 健太郎 (県立かえで支援学校)

**一般の部**



吉田 美羽 (県立山梨高等学校)

**標語 優秀賞**

小中学生の部  
**「大丈夫？」 その言葉が嬉しくて  
 見えない光が見えた気がした**  
 山宮 叶子 (県立盲学校)

一般の部  
**カラフルな個性を守る、優しい世界**  
 長澤 朋花 (県立甲府昭和高等学校)

**標語 佳作・特別賞受賞者**

＜小中学生の部＞

佳作	清水 一翔	南アルプス市立八田中学校
佳作	坂本 怜	笛吹市立石和西小学校
佳作	渡邊 杏	富士吉田市立吉田小学校
佳作	河手 聡一郎	北杜市立須玉小学校
佳作	脇山 絢	甲斐市立玉幡小学校
佳作	日沼 彩芭	甲斐市立竜王中学校

＜一般の部＞

佳作	小越 大輔	県立甲府昭和高等学校
佳作	中込 有和	県立甲府昭和高等学校
佳作	杉山 愛	県立甲府東高等学校
佳作	望月 真白	県立甲府東高等学校
佳作	柳澤 真菜緒	山梨学院短期大学
特別賞	県立甲府昭和高等学校 生徒会	

※小林さんの作品は、国主催の「障害者週間のポスター」で内閣総理大臣賞を受賞

**ポスター佳作受賞者**

＜小中学生の部＞

佳作	大村 昊輝	山梨市立加納岩小学校
佳作	雨宮 玄汰	甲府市立西中学校
佳作	入倉 彩羽	甲府市立西中学校
佳作	清水 心優	甲府市立西中学校
佳作	大村 心春	山梨市立加納岩小学校

＜一般の部＞

佳作	米山 美南実	私立山梨英和高等学校
佳作	西川 詩穂	県立やまびこ支援学校高等部
佳作	功刀 美空	県立山梨高等学校
佳作	木下 真実	県立山梨高等学校
佳作	秋山 聖菜	県立中央高等学校



全応募作品は「障害者の主張大会」の会場で展示

## 県職員への「バリアフリー推進講座」を開催

県の管理職等を対象とした「心のバリアフリー推進講座」を10月7日～18日の間計4回開催し、対象者の7割を超える107名が受講しました。

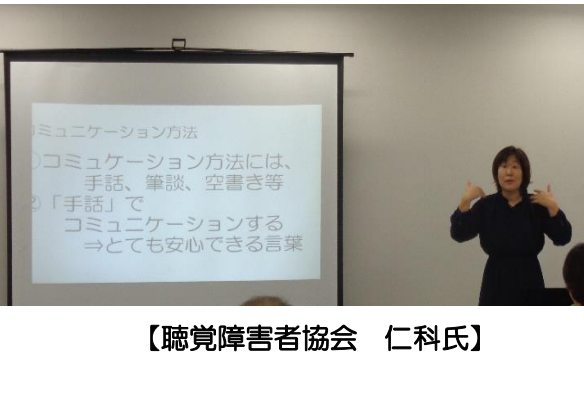
○ 主な内容

- 1 障害者差別解消法等での公務員の責務・不当な差別に関する事例の学習
- 2 障害者への配慮(視覚や聴覚に障害のある方による講話等)
  - ① あいさつ等の簡単な手話表現についての研修
  - ② 盲導犬ユーザーや視覚障害者に必要な支援に係る講話

※ 県では、障害を理由とする差別の解消を推進するため、各所属の管理職等を「心のバリアフリー推進責任者」として設置しています。



【手話を学ぶ県の管理職等】



【聴覚障害者協会 仁科氏】

**手話を学ぶこと**

- ①ろう者を知ることが本当の意味で「手話を学ぶ」こと
- ②互いを思いやり、支えあう社会づくり
- ③私たちの心を豊かにする

**視覚に障害のある方に必要な支援**

○移動支援

- ・山梨県は路線バスが限られている
- ・バスの待合所も場所によって狭い
- ・バス停までの誘導が少ない
- ・電車のドアの開閉がボタン式となり、場所を確認するのが難しい

○情報提供手段

- ・ホームページに掲載された写真やPDFはアプリで読み上げることができない



【視覚障がい者福祉協会 矢崎氏】

編集後記：  
 本年度の障害者週間が終了しました。市町村の広報誌でも障害者週間にかかわる記事が多数掲載されています。障害者週間が終わっても障害者差別解消・共生社会の実現に向けた取り組みは続きます。2020東京パラリンピックに向けて競技に関する周知も進んでいます。「にわか」から継続した変わらない支援につながっていかねばという思いを強くしています。皆さんとともに取り組みを着実に進めていきましょう。(障害者差別解消推進員 久保)